



あけましておめでとうございます



院長 那須 範 満

新型インフルエンザの感染が拡大しています。その中でも小児の患者さんが大部分を占めているため、当院の小児科へも多くの患者さんの紹介をいただいております。昨年の12月16日までに42名の小児の新型インフルエンザの患者さんが入院されました。

一方、高齢化社会の今、入院中の高齢の患者さんの割合も高くなっています。施設などから紹介していただいた入院患者さんは毎月70名ほどになりますが、リスクが高く、入院も長期化する傾向にあります。

現在の医療制度では小児診療や救急医療、特に高齢者の救急医療には様々な課題があります。しかし、地域の医療ニーズを考慮すれば宝塚第一病院は急性期病院としての役割を堅持しなくてはなりません。

これからも「地域から信頼され、人に優しい医療の提供を目指して」の理念のもと、地域医療機関や介護・福祉施設との連携を強め、急性期病院としての機能をより充実していきたいと考えています。

宝塚第一病院&宝塚リハビリテーション病院 地域交流会

平成21年11月21日(土)、宝塚リハビリテーション病院にて『宝塚第一病院&宝塚リハビリテーション病院 地域交流会』を実施しました。

- * 講演1 「宝塚第一病院の最新MRI装置について」
- * 講演2 「宝塚第一病院の看護専門外来について」
～褥瘡・ストーマ保有者のケアおよびスキンケア～
- * 講演3 「宝塚リハビリテーション病院の目指すもの」
- ※ その他、地域交流に関するフリートーク

26名(施設19名、病院2名、開業医5名)の方にご参加いただき、以下のようなご意見を頂戴しました。

- ・日頃電話でしか話した事のない他の事業所の方と面識が持て交流が深まった
- ・脳性麻痺の外来リハビリができればありがたい
- ・看護専門外来があることを知らなかったなので、活用したい
- ・褥瘡の個別相談をしてほしい
- ・ストーマや褥瘡の勉強会を開いてほしい

今回は、看護専門外来への質問が多く、地域の関係職種の方々の関心の高さが伺えました。今後は、地域交流会等を通じて、院外へ最新情報をタイムリーに発信し、同時に外来機能の充実を図っていききたいと思います。



Dr. 森本のワンポイントアドバイス



マスクはウィルス感染予防に効果がある?

鳥インフルエンザ、SARS、新型インフルエンザの流行で表舞台に立つことになったマスクですが、どれだけ効果があるのか見直してみましょう。

十分な効果を得るためには

- ・ マスクと顔が密着していること。
- ・ 不織布製マスク(サージカルマスクなど)は、痰などに付着したウィルス(飛沫感染)を防ぐが、飛沫核物質のウィルス(空気感染)を防ぐことはできない。N95以上の性能のあるマスクが必要。さらに、ウィルス単独であればナノフィルターが必要。
- ・ 仮に、マスクで防御できたとしても、手、髪、衣服などに付着したウィルスからの感染を予防できない。手洗いなどが大切。



では、期待できる効果は

- ・ マスク着用で、気道を暖め、乾燥を防ぎウィルスの繁殖を少しでも抑える。
- ・ 痰や唾液中のウィルスはマスクに付着するので、大気中への拡散を低減する。感染している人、感染の可能性のある人のマスク着用効果は大きい。

マスクなどによりある程度の予防効果は期待できますが、それ以上に感染者の着用による感染拡大の阻止が大切と思われます。

宝塚第一病院 医療福祉相談室を紹介します

医療福祉相談室では、病気になったことで起こる日常生活の不安や問題を患者さんやご家族と共に考え、様々な社会資源を利用し、安心して治療に専念できるよう手助けを行っています。相談はおおむね次のような内容です。

1) 退院支援

- ・自宅での介護の方法を教えて欲しい
- ・一人暮らしなので自宅生活に不安がある
- ・施設や長期入院ができる病院を教えて欲しい



2) 医療費に関する相談

- ・医療費の支払いが困難

3) 社会福祉制度等の案内

- ・介護保険や身障者手帳について知りたい

4) 話を聞いて欲しいが誰に言えばよいか判らない等

現在の相談は高齢化社会を反映して 90%は高齢者の退院支援となっています。患者さんの状態、ご家族の希望に応じて、介護施設や長期療養型病院の紹介、介護保険の申請、介護サービス利用の説明、居宅介護事業所（ケアマネ）の紹介、在宅退院の患者さん、ご家族に対しての退院前カンファレンスの開催等を行い、安心して退院していただけることを目指しています。

現在、相談員が1名の為、ご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、相談業務は医師、看護師、リハビリスタッフの協力で成り立っていますので、それらの連携を密に、今後も患者さんのために日々努力していきたいと思っております。



授与されました！



←西宮税務署長より納税に対しての優良申告法人として表彰されました。
平成元年より5年ごとに今回で5回目の受賞となります。

→日本赤十字社より多年にわたる赤十字事業の進展への尽力および貢献に対して、金色有功章をいただきました。



コラム THE JIMUCHO

Vol. 4

昨年暮れ、3年にわたり放送される司馬遼太郎原作の壮大な物語、『坂の上の雲』が放送されました。

『坂の上の雲』は、日露戦争でコサック騎兵を破った秋山好古と、日本海海戦の参謀・秋山真之の兄弟、彼らと子供時代から親交があった俳人・正岡子規という実在の人物を主人公にした司馬遼太郎を代表する長編小説です。

3人の主人公を育んだ松山に、小説ゆかりの「坂の上の雲ミュージアム」があるそうです。

もう一度読み返し、小説の世界に浸りながら、主人公3人の足跡をたどる松山の街歩き旅というのはどうでしょう。

事務長 丸山